

2022.07.26 シニアクラブ Online 会合報告

7月8日、参議院選挙を直前に控え、全国各地で候補者が街頭に立ってそれぞれの政策を訴えていました。その日、奈良の近鉄大和西大寺駅前で応援演説に来ていた安倍元首相が凶弾に倒れるという事件が起きてしまいました。



安倍元首相の「地球儀を俯瞰する外交」に因んで、今回私たちも「地球儀を俯瞰して新たな発見をしよう」をテーマに開催しました。実際には地球儀が手元にないので、ネットを応用して「地球を俯瞰して」ということになりましたが…。参加 10 名。

まずは Google Earth の画面から、「東京で真東を向いて太平洋をまっすぐ進むとアメリカ大陸のどこに至るか」を確認しました。

着いたところは南米チリのほぼ中央となり、そのままさらに進んで地球を一回りすると東京に戻って来るとも確認しました。アルゼンチンの大西洋沖合から真東に進むと東京に戻るようになります。

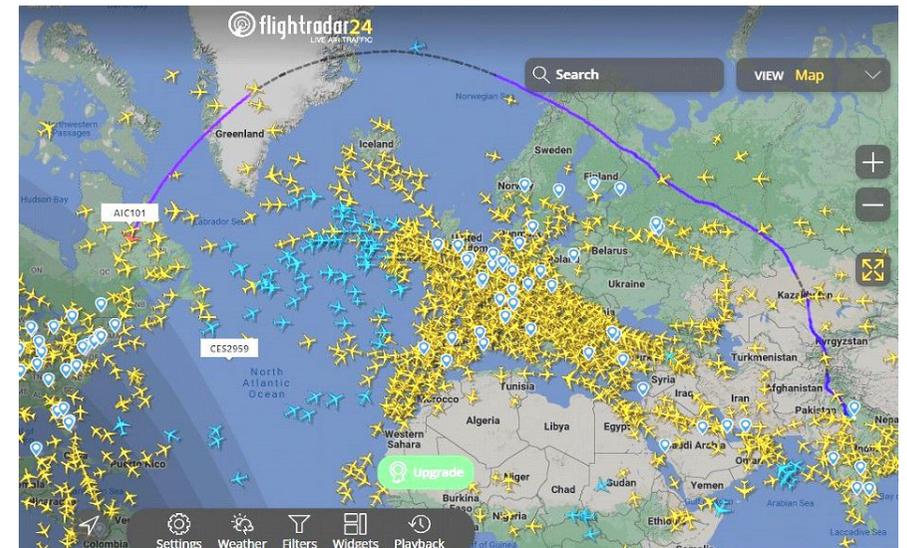
もう一度繰り返してみると、東京から真東に進み始めても移動するにつれて方位が微妙に変化していることが分かりました。



次に「フライトレーダー 24」<https://www.flightradar24.com/> のサイトから、世界の空を飛び交う航空機の様子を眺めてみました。

目的地に向かってまっすぐ一直線に飛ぶことができれば、それが最短距離ということになります。しかし、それぞれ勝手に飛ぶことは許されず、地上からの管制誘導で決められた航路を移動しています。

国際間の緊張の高まりなどから上空を飛行することができない地域もあり、その現状を眺めてみました。



青い線がインドの航空機、デリー発ニューヨーク便の飛行ルートで、ロシアの上空をほぼ北に向かって飛んでいる。グリーンランドを中心に真上から見るとこれがほぼ一直線で最短距離。ただし現在、アメリカの航空会社で同じ路線便はこのルートをとらず、遠回りとなる図の中央の航空機密集地帯を飛んでいる。ウクライナ上空は一機も飛んでおらず、ここにも戦争の影が映し出されている。

「どこでも方位図法」<https://maps.ontarget.cc/azmap/> で調べてみればニューヨークはインドのほぼ真北にあることが分かります。

今回、平面の地図からだけでは分からない発見がありました。皆さんもそれぞれこれらのサイトを眺めて新たな発見をしてください。

次回の開催は別途ご案内します。またお会いしましょう。

2022.07.27 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周